

# ～TANKYU～

谷地南部小学校  
校内研究だより  
2022. 11. 4  
No.26 文責 荒木秀

## 自由進度学習の進め方の一考察

前号の自由進度学習の進め方の説明があまりにもざっくりしていて、イメージが湧きにくかったようなので、もう少し詳しく説明します。ただし、あくまでも私の進め方です。参考程度にどうぞ。

自由進度学習は「予習」や「調べ学習」などを個別に行うイメージです。もちろん、一人で困れば仲間と相談してもかまいません。例えば、国語の『カレーライス』という物語では、既習の「構成」「中心人物」を捉える学習は自由進度で行い、読みのベースをそろえました。その後に、一斉授業の中で「構成」「中心人物」を全員で確認し、初発の感想や疑問を共有して、本単元の読みの課題を設定しました。再度、自由進度で課題の答えを考え、一斉でそれを共有します。

社会科でも同じような流しで、五十嵐先生単元を組んでくれています。

		国語 『カレーライス』	社会 『水産業』『工業』『情報』
1	個別最適な学び 〈自由進度学習〉	・「構成」「中心人物」を捉える →読みのベースをそろえるため	・教科書を読み、疑問に思ったことを付箋に書く。
2	協働的な学び 〈一斉授業〉	・「構成」「中心人物」の確認 ・初発の感想・疑問の共有	・3つの単元から担当する単元を決める。
3	個別最適な学び 〈自由進度学習〉	・調べ学習 ・疑問の答えをまとめる	・自分の担当の疑問を調べる。 ・調べてわかったことをまとめる。
4	協働的な学び 〈一斉授業〉	・考えを発表する	・わかったことを発表する。

※場合によっては、3、4をもう一度くり返す。

このように考えると、みなさん現在もこんな流れで授業を組まれているのではないですか？何も海の物とも山の物ともつかない真新しいものではないのだと思います。ただし、課題を立てる上で、3つ留意点があるのかなと考えています。

- ① 課題は、簡単すぎではいけない。
- ② 課題に対する答え（考え）は、なるべく1つにならない。（多様な考え方ができる。）
- ③ 課題は、自分事にならなければいけない。

裏面に続きます

①については、課題は簡単に解決できるようなものではないと思います。単元を通して解決したいような課題になるといいと思います。こちらから小出しに課題を何度も出していくと、やらされ感が強くなり、主体的な学びにはなりません。

②については、できれば答えが1つではないということも大事なと考えます。だって、みんな同じだったら、他の人の考えを聞きたいとは思いませんよね。それぞれ違うからこそ、協働的な学びをする意味があります。教科の見方・考え方が広がる学びにしなければなりません。

③については、①とも重なりますが、いかに子どもたちが主体的に取り組めるようにするかということが大事になると思います。自分から調べてみたいなんて言葉が出たら、こっちのもですね。

先日、伊藤先生が「TANKYU 23号」で、次のようなことを書いてくれました。

年度初めに研究主任と話をし、「家庭学習について少し取り組んでみないか？」と任せていた  
だいてから、Twitter を読み漁ったり書籍を読んだりしました。全国の教員の皆さんも同じ  
悩みを持っていることがうかがえました。本をあまり読まない私ですが、空いている時間に興味  
深いトピックを拾って読み進め、正直人生で一番真面目に本を読んだかもしれません。様々な捉  
え方や意見がある中で、我々教員が立ち返るところはやはり学習指導要領だと思い、解説編を読  
んでみました。このように書いてありました。

伊藤先生にとって「家庭学習をどうすべきか」という課題は、①簡単には解決しないし、②様々な  
考え方があるし、③担任として自分事となったからこそ、夢中になって取り組んでくださったのだ  
と思います。だって「人生で一番」ですよ。高校入試や大学入試は一体何をやってたんだとつっこみ  
たくなります。

そして、こんな風に夢中になって得た知識は、まだ知らない人に伝えたくくなります。だから、噂話  
とか盛り上がっちゃうんですね。伊藤先生、今回初めて「TANKYU」を書いてくれました。うれ  
しい限りです。「今年度中にあと20号出してね。」とお願いしたところです。

ということで、子どもたちが伊藤先生のような学びができるように、教師として指導の手立てを  
とっていきたいですね。でも、何度も言いますが、教師が出過ぎてはだめですよ。